

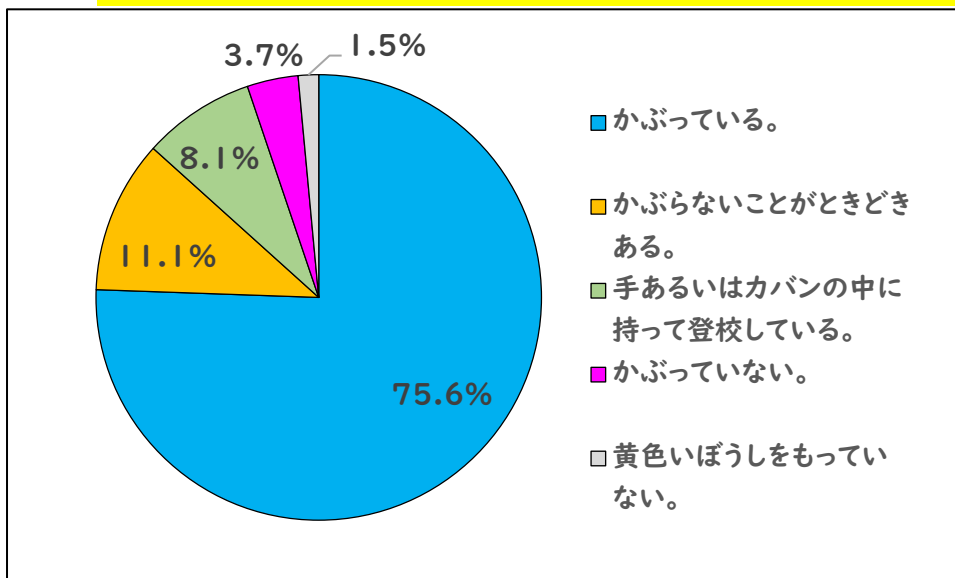


通学用帽子の着用について

本校には、「登下校時は黄色いぼうしをかぶる」という学校生活のきまりがありますが、ぼうしをかぶっていない児童も散見されます。近年、中学校、高等学校では校則の検討や見直しが進められていますが、きまりがあるのに徹底されていない現在の状況をなんとかしたいと考えています。

そこで、1学期の終わりに3年生以上を対象に通学用帽子に関する実態調査を行いました。135人が調査に参加し、次のような結果が得られました。

1 あなたは、通学用ぼうし（黄色いぼうし）をかぶって登校していますか。



全体の約25%の児童が「かぶらないことがある」ということがわかります。(135人中33人)

男女別で見ると、「毎日かぶっている」と回答した男子は約84%、女子は約67%で、男子よりも女子にぼうしをかぶらない傾向があります。しかし、ぼうしをかぶっていない女子のうちの半数近く(22人中10人)は「手あるいはカバンの中に持って登校している」と回答しています。

通学用ぼうしに関する「きまりは守らなければならない」という思いはある一方で、何らかの理由で「かぶりたくない」という気持ちがあるのかもしれない。「手あるいはカバンの中に持って登校している」男子は11人中1人

2 「ぼうしをかぶらない、かぶらないことがある」理由を教えてください。

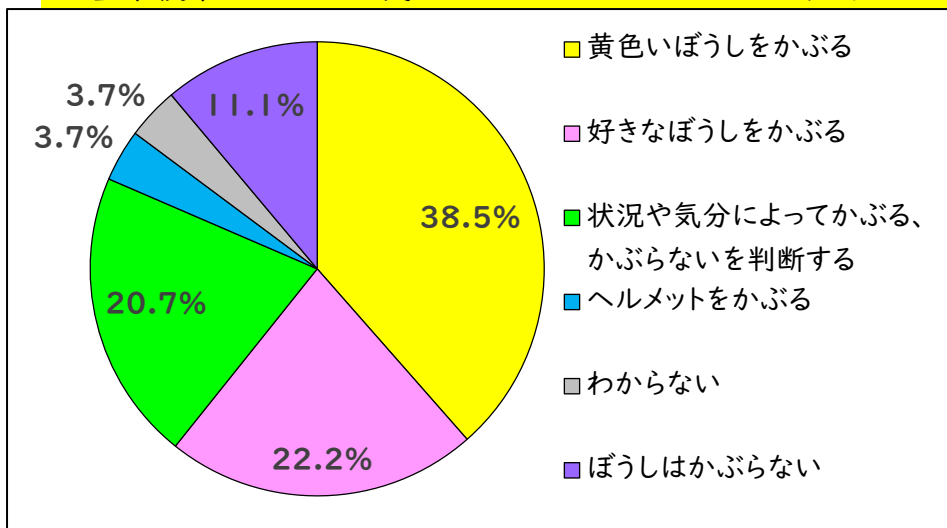
子供っぽくて恥ずかしい(2) ダサい(3) 少しっこわるい
 髪をしばるとぼうしがあたって痛い めんどくさい(4) じゃまになる
 破れてしまった ぼうしが小さい(3) ぼうしが見つからない ぼうしをなくすのが嫌
 汗をかく 暑い(3) 汗で帽子がむれて余計に熱くなる
 汗がぼうしの中にたまり、ビショビショになり、気持ちが悪くなる
 登校したら汗でビシャビシャになってしまうから下校時はかぶらない
 風ですぐ飛ぶ(2) 天気の良い日などはかぶる必要がないと思っている
 忘れる(3) かぶっていいことがあるかわからない 理由はない なんとなく



一部の子供たちにとっては、通学用ぼうしが好みのデザインでなかったり、天候などの影響でかぶり心地がよくなかったりするようです。成長とともにサイズが合わなくなったり、紛失してしまったり、破れたりしてしまったりという子もいます。また、状況によって自分でかぶらないと判断している子もいることがわかります。

黄色い帽子の利点の一つは、子供の存在を周囲に知らせることにあります。

3 登下校中のぼうしに関するきまりがなくなったら、あなたはどうだと思いますか。



「自分の好きなぼうしをかぶりたい」「状況や気分によって自分でかぶる、かぶらないを決めたい」と考えている児童がかなり多くいます。そのような子供たちは、今はきまりがあるから、仕方なく黄色いぼうしをかぶっているのかもしれませんが。多少は納得がいかなくても今あるきまり

を守ろうとする態度は大切です。納得がいかない部分があるからとすべての人がきまりを守らなくなったら、社会は成り立たなくなってしまうと思います。

安全面で本当はヘルメットを着用して登下校したいと思っている子供たち（5人）がいることも分かります。一方で、ぼうしをかぶりたいくないと考えている児童も11%（15人）います。現状もそうなってしまっていますが、熱中症の心配もある中で無帽での登下校については賛否が分かれるところです。

4 「通学用のぼうしをかぶるというきまりが守られていない」というこの問題の解決策を教えてください。（複数の児童から提案された解決策、興味深い解決策を紹介します。）

- ・ぼうしにどんな役目があるか動画で紹介する
- ・かぶった方が安全だと伝える（多数）
- ・全員ぼうしをかぶって一週間登校できたクラスを放送で紹介する
- ・注意、呼びかけをする（多数）
- ・おうちの人に言う
- ・ぼうしがないと校門を通れないようにする
- ・女子も男子と同じぼうしにする
- ・ぼうしの形や色、デザインを変える、かわいい、かっこいいぼうしにする
- ・きまりを変える、なくす
- ・ぼうしの着用を個人の判断にする
- ・好きなぼうしをかぶれるようにする（多数）
- ・1、2年生はまだ危ないからかぶるようにして、3、4年生は、まだ少し危険があるからなるべくかぶるようにして、5、6年生は、かぶらなくてもかぶってもどちらでも良いにする

子供たち、保護者、職員が次の3点について共に考えたり確認したりするという意図をもって、今後も通学用ぼうしに関わる検討を進めていきたいと考えています。

- ・黄色いぼうしに込められた思い
- ・いのちの大切さ、自分の命を自分で守ることの大切さ
- ・きまりの意義（きまりを守ることの大切さ、きまりはつくるのも守るのも人だということ）

<今後の予定> ※ 保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

- 1 通学区会でぼうし着用のルールを確認します。（8/31 実施済）
- 2 実態調査報告（本学校だよりの内容）を使いながら、上記3点について子供たちに考えさせた上で、今後どうするのがよいのかを学級で話し合います（9/25～10/5）
- 3 通学用ぼうしに関する「浅羽東小のきまり」について、各家庭で保護者とお子さんとの話し合いをお願いします。（9/25～10/5）その後、きまりの変更等について各家庭の希望・意見を集約します。（10/5～10/9）同時に職員の意見も集約します。
- 4 保護者、児童の希望・意見、職員の意見を踏まえ、児童の代表と職員の代表とで協議し、来年度以降どうするのかを決定します。
- 5 学校だよりに通じて、結果をお知らせします。